



次に、施設ごとの利用状況を見てみました。首里城地区と海洋博覧会地区は、国営沖縄記念公園が管理していますが、このグラフでは、入園者数を分けています。沖縄美ら海水族館は海洋博覧会地区に属し、平成14年11月にリニューアルオープンしています。

いよいよ佳境！ 沖縄の観光

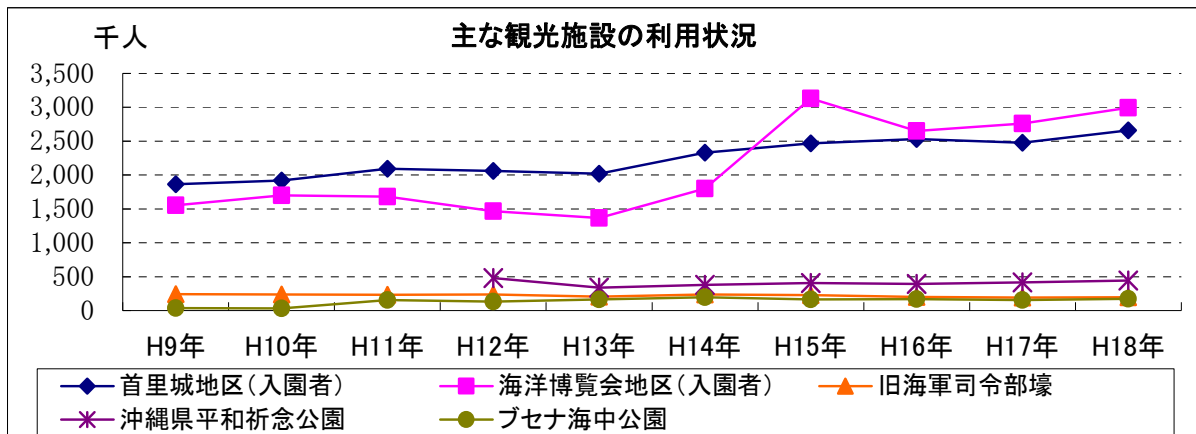
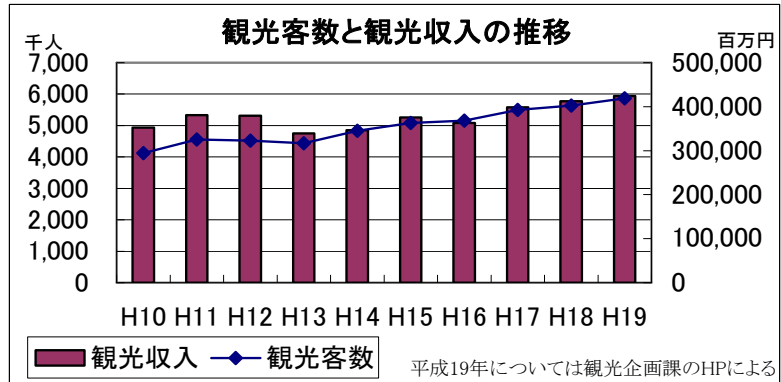
2008年7月21日から8月31日まで、銀座の数寄屋橋交差点のソニービルに、沖縄美ら海水族館が出現します。

毎年行われているイベントですが、今年は200インチの大スクリーンに沖縄美ら海水族館の大水槽「黒潮の海」が映し出され、東京のみなさんにも堪能してもらうことが出来ます。

癒しスポットとしても有名になりつつある沖縄美ら海水族館ですが、沖縄にはその他にも、首里城を始め多くの観光施設があります。

今回は、これら観光施設の利用状況を見てみました。

まずは、沖縄への観光客と観光収入の推移を見てみました。ほぼ順調に推移していると言えます。



注；沖縄平和祈念公園は平成12年3月から一般公開、平成16年までのデータは年度ごととなっている。

；ブセナ海中公園は平成9年7月から開発工事後再オープンした。

；データは全て「観光要覧 平成18年版」(観光企画課)による。

やはり、首里城公園地区と海洋博覧会地区の入園者数は、他の施設と比較しても多くなっています。

沖縄はこれから旧暦の7月のお盆を迎え、様々な地域でエイサー祭りが行われます(7月エイサー)。

また、新暦9月には糸満大綱引きを始めとして、各地の豊年祭、首里城での中秋の宴など、イベントが目白押しです。

観光客のみなさんが各観光施設やイベントを知ることで、多くの方々が沖縄を訪れることを期待したいです。



エイサー(屋慶名青年会)

画像；(財)沖縄観光コンベンションビューロー (<http://www.ocvb.or.jp/index.php>)